

理事長の頭の中

Chairman of Chitosekai Group
by Hiromasa Hidari

VOL.168. 2020. 7月号

「普通に」「こなす」が習慣の人は不機嫌になりやすい」

スイッチON！！地球規模で天災が続いている。熊本豪雨。。痛ましい。報道にもありますが、特養の災害死亡事故。天災での不可抗力として報道されていますが、避難のありかたや日々の訓練による実績が、世間の非難の的にならない場面もあると、改めて年間の行事の大切さに気付かされる。自分ごとに感じる瞬間です、。。
ご冥福をお祈りするとともに、一刻も早い復興を願うばかりです。。

さて、今回は、辻先生の著書の抜粋です。

“選んだことを行動する”、人生は“これ”の繰り返しなので、行動しているときの“質”が低いと、残念な結果が積み重なっていきます。

自分の感情や感性の入り込む余地もなく、質の低い行動をやらされながら、ただ日々を送っている人が多すぎます。

人生の質は、自分で決めていけるものです。

行動の内容はどうしてもやらなければならないことがあるかもしれませんが、それをどんな質で仕上げるかは、自分で決めて行けるのです。

結果を出す人というのは、何かをやらなければならないとしても、質という部分を自分で決め、他人に委ねません。作業に慣れてしまうべきではありません。

普通にやればいいと考えてはいけません。普通などというものはないのです。

普通とは、心を無視してやってきた経験に基づいて形成されたものでしかありません。

作業が普通。つまり、人生は普通。こうなってしまうと、行動のパターンは固定化されてしまいます。

すると、可能性やチャンスが目の前にやってきても、それに気づくことができません。

自分のやりたいことをやれたときにだけ行動の質が良くなる、ということではなかなか満足感を抱きにくいので、心のモヤモヤが消えることがありません。

そうすると、「何かいいことないかな」とか、「あいつはいいな～」となってしまうのです。

どうせやらなければならない行動をするときに、“自分はどんな心でやりたいのか”この点をしっかりと考えてください。いつでもどこでも自分はこうありたいというエネルギーは誰にでもあり、生きる力となります。

やることの内容は、自分で決められないことが社会人なら当然あります。

しかし、そのときに、心の状態を自ら整えることで、物事の結果をよりよいものに持っていくことはできるのです。

自分の人生の質は、自分の行動の質で高められる可能性があるのです。

それに、気づいていない人が多すぎます。「普通にやる」を脱出して自分の人生を生きましょう。



フェイスブック始めました。
お友達申請お待ちしております。

社会福祉法人 千歳会
理事長 左 敬真

